

平成 30 年度 第 12 回天竜区協議会

次第

日時：平成 31 年 3 月 20 日（水）

午後 3 時 00 分から

会場：天竜区役所 21・22 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 事

（1）協議事項

平成 31 年度地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」について【資料 1】

（2）報告事項

平成 31 年度における新市建設計画登載主要事業の状況について【資料 2】

（3）その他

地域課題について

県立天竜高等学校「総合的な学習の時間」学習発表

5 その他

（1）次回開催予定

日時 平成 31 年 4 月 24 日（水）午後 2 時

会場 天竜区役所 21・22 会議室

6 閉 会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	□諮問事項	■協議事項	□報告事項
件 名	平成 31 年度地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」について		
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	地域力向上事業は、多様な主体が対等な立場に立ち、相互に活躍する取り組みを通じて住みよい地域社会を実現するため、区民の参加と協働により区の特性を活かした事業や課題を解決する事業。 ○市民提案による住みよい地域づくり助成事業 団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業		
対象の区協議会	天竜区協議会		
内 容	・広報はままつ1月号などで広く募集した「平成31年度地域力向上事業助成事業」に、1件の応募があった。 ・これについて、行政推進会議の審査を経て、1件の採用候補事業を選定した。 ・採用候補とした事業について、天竜区協議会のご意見をうかがうもの。 提案数 1 件 採用候補とした事業 1 件		
備 考 (答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など)	区協議会の意見を参考に、後日、区長が採用する事業を決定。		
担当課	天竜区振興課		

平成 3 1 年度 地域力向上事業

市民提案による住みよい地域づくり助成事業
(当初募集分)

事業提案書

平成 31 年 3 月 20 日

天竜区協議会

平成 31 年度 地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」

事業名	提案者（担当課）	区分 補助率	概算事業費 （円）	交付希望額 （円）
事業の目的	事業の概要			
事務局意見（実施要綱の該当要件）	採用の可否 補助限度額（円）			

こどもひみつむら (やまのようちえん、山の学校)	NPO 法人ほっと 龍山(龍山協働C)	継続 40%以内	820,418	328,000	
・ 自然に触れ、体を動かして活動する中で、子ども間での協調性や主体性などを培う場を作るとともに、自然の中で遊ぶ力を教えていく。 ・ 保護者を含め、子供たちと龍山地域との間に継続的な交流の場を作るとともに、地域と秘密村のPRを行う。 【実施要綱第3条（1）（6）に該当】 ・ 当該団体は龍山地域において様々な分野で中心的な役割を果たしてきたほか、地域とのつながりも強い。 ・ 地場産品の活用など、自然に恵まれた龍山地域の魅力を体験できる事業展開により、地域の魅力発信が期待できる。 ・ 地域住民を巻き込み、子供たちや保護者との交流の場を設けることで、地域コミュニティの醸成につながることが期待される。		「龍山秘密村」を会場として、幼稚園児を対象とした「やまのようちえん」及び小学校1～3年生を対象とした「山の学校」を開催する 「やまのようちえん」事業 ・ 森林散策や野遊び ・ たき火、その他創作活動など 「山の学校」事業 ・ 森林散策や野遊び ・ 野外炊飯、その他創作活動など 採扶が適当である			328,000

事業提案書

平成31年 1月25日

浜松市長 鈴木康友 様

所在地

団体の名称

特定非営利活動法人 ほっと龍山

代表者氏名

理事長 鈴木政成

連絡先 TEL

次のとおり、事業を提案します。

事業名	こどもひみつむら(やまのようちえん、山の学校)
実施時期	平成31年4月1日(月) ～ 平成31年12月20日(金)
実施場所	天竜区龍山町大嶺地内 「龍山秘密村」
概算事業費	820,418円
参加予定人数	参加者(幼稚園児及び小学生と保護者) 250名
事業の目的	自然に触れ体を動かして活動する中で、子ども間での協調性や主体性などを培う場とするとともに、自分の身は自分で守る知恵を身に付けながら、自然の中で遊ぶ力を教えていく。 龍山地域に学校がなくなっているため、地域に子どもたちの声を響かせ、保護者を含めた継続的な地域との交流の場をつくるとともに、龍山地域と龍山秘密村のPRを行い、地域振興につなげていく。
事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	別紙「事業計画書」のとおり
事業効果	・次代を担う子どもたちを育成するための一助となる。 ・子どもたちやその保護者に龍山地域の自然と食材に触れ、「龍山」と「龍山秘密村」等を知ってもらうことで、龍山への来訪者の増加につながる。 ・各種の地域との交流の場へ参加してもらう契機となる。
備考	

裏面に続く

＜事業提案にあたっての確認事項＞

提案を行う事業について、該当する□にチェックを入れてください。

☒	政治、宗教、選挙活動又は営利を目的とする事業ではありません。
☒	暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。）、暴力団員等（同条第６号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者をいう。）及び暴力団員等と密接な関係を有する者並びにこれらの者のいずれかが、団体の役員等（無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役又はこれらに準じるべき者、支配人及び清算人をいう。）ではありません。
☒	公序良俗に反する事業ではありません。
☒	浜松市の他の補助金等の支援を受ける見込みは ☒ ありません ☐ あります（補助金等名称： ）
☒	国、他の地方公共団体又は浜松市の外郭団体から別に補助金等の公的支援を受ける見込みは ☒ ありません ☐ あります（補助金等名称： ）
☒	施設整備など後年度に維持管理経費が生じる事業ではありません。
☒	同様の提案を他区に行って ☒ いません ☐ います（提案を行った区： 区 事業名称： ）
☒	給与所得者を雇用する事業者ですか。 ☒ はい⇒市民税・県民税特別徴収義務者指定通知書を併せて提出してください。 ☐ いいえ

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	備考
補助金	328,000円	地域力向上事業補助金 820,418円×40%以内=328,000円
計	820,418円	

2 支出の部

単位：円

区分		予算額	備考
賃金		168,168円	指導員の賃金（企画・準備・指導） ・元自然学校職員で同様の指導経験者（2名） 日帰り：14回×10時間×858円/h＝120,120円 宿 泊：2回×28時間×858円/h＝48,048円
報償費		240,000円	補助スタッフ等謝礼 6,000円×40人＝240,000円 （日帰り2人×14回、宿泊6人×2回を予定）
需用費	印刷製本費	31,000円	周知用チラシ印刷（10,000部） 31,000円
	消耗品費	227,300円	水性or油性マーカー、ボールペン等 27,000円 色鉛筆5,300円 ・ 絵の具3,000円 名札用クリップ5,000円 ・ 作業用手袋等20,000円 クリアケース、バインダー8,000円 封筒、用紙、ラミネートフィルム等25,000円 乾電池等20,000円 ・ 衛生、救急用品26,000円 テープ、紐類10,000円 ・ 塗料38,000円 木材、ねじ、釘等40,000円
原材料費		132,500円	野外調理体験用食材費（できる限り地元産の食材を使用） ・日帰り：250円×（14回）210人＝52,500円 （芋や栗、果物など季節の食材を使った焚火調理など） ・宿 泊：2,000円×（2回）40人＝80,000円 （カレーやサンドイッチなどを野外調理体験など）
郵便料		21,450円	チラシ等郵送料：250円×25園＝6,250円 380円×25園＝9,500円 570円×10園＝5,700円
計		820,418円	

第3号様式（第6条関係）

団体の概要書

団体名	特定非営利活動法人 ほっと龍山		
事務所の所在地	（ 専用事務所 ・ 住居兼用 ・ その他 ）		
	電 話		FAX
	ホームページ		
代表者氏名	理事長 鈴木 政 成		
担当者連絡先	氏 名		
	電 話		
	F A X		
	Eメール		
設立年月日	平成26年8月18日		
会員数	235名		
団体の目的	急激な人口減少と高齢化が進む旧龍山村地域において、これまで育まれてきた暮らしや文化を大切に、今後も住み続けたいと実感できる地域づくりや地域資源を活かした魅力づくりなどに取り組み、龍山地域の活力の維持と高揚に寄与していくことを目的としている。		
主な活動内容	特定非営利活動に係る事業を次のとおり行っている。 (1) 暮らしやすい地域づくりの推進に関する事業 高齢者見守り宅配事業など (2) 地域資源による活性化と交流の拡大、情報発信に関する事業 龍山秘密村の運営など (3) その他目的を達成するために必要な事業 龍山森林文化会館の管理運営受託など ※その他の特定非営利活動以外の事業は実施していない。		

事業計画書

区 分	やまのようちえん (幼稚園児)	山の学校 (小学生)
実施場所	龍山秘密村(天竜区龍山町大嶺白倉地区)とその周辺	
対 象 者	幼稚園児	小学校1～3年生の児童
実施規模	日帰り 7回(1回につき子供15人) 1泊2日 1回(1回につき親子20人)	日帰り 7回(1回につき子供15人) 1泊2日 1回(1回につき親子20人)
内 容	様々な活動を通して自然の良さ、その魅力と遊ぶ楽しさを実感してもらう。 【森林散策や野遊び】 敷地内の小川で遊んだり、周辺の山中を散策したりして自然の良さ、体を動かして遊ぶ楽しさを感じてもらう。 【焚火】 直接、火を見ることでその温かさと怖さを覚えてもらいながら、地元産の芋や栗など地域の特産品を知ってもらう。 【その他創作活動】 周辺にある自然のものを使って何かを作る楽しさを感じてもらう。	自然の魅力を伝えるとともに、自ら考え、取り組むことや協調性、主体性などを身に付ける場とする。 【森林散策や野遊び】 自然の中にあるものを使った遊びを教えながら、そのほかの楽しみ方を自分で考え実行する中で、自然の豊かさ、大切さを伝えていく。 【野外炊飯】 野外で調理することを体験させ、自然の中で自ら作り、それを完成させたときの喜びを感じてもらう。食材には地域で採れたものを使用し、地域の特産品を知ってもらう。 【その他創作活動】 物を作る楽しさを教えるとともに、自然を生かして様々なことができることを理解してもらい、創作力の向上を図る。
指 導 者	指導者1:元自然学校職員、環境教育・アウトドア・ガイド経験あり 指導者2: 同 上 指導者3:ドイツ留学にて森のようちえん研修受講、自然体験指導経験あり	
周知方法	浜松市内の市立幼稚園児にチラシを配布するほか、ホームページなどで周知	

天竜高等学校「総合的な学習の時間」学習発表資料





テーマ 天竜区のPRビデオ作成

方	法	○フィールド調査 ○天竜区を舞台に活躍をされている方々への取材
内	容	○天竜区や中山間地域でのビジネスモデルの好例 ○天竜区におけるビジネスチャンスの因子発見






近未来と愛称のよい中山間地域における
戦略的取組の好例をさぐる

仮説 情報社会のインフラ整備

ドローンや自動運転といった新技術

⇒ 都市部と中山間地域の差が埋まる時代に



人材 talent person

カネタ太田園



金子コード株式会社





調査報告 Research Reports

近未来に天
竜区が輝く
ヒント1



近未来に天竜区が
輝くヒント2

- 諦めない気持ち
- ポジティブ
であること

Staff

23HR	内山 皓太
	服部 翼
24HR	大谷 健
	森坂 芳喜
25HR	浦野 裕貴
26HR	高村 直也

Performer

二 俣	カネタ太田園	太田昌孝さん
春 野	金子コード(株)	武石充人さん
佐久間	大学堂	邑田百恵さん
佐久間	NPO いどばた	柴田さん 馬場さん
佐久間	ヘアースalonノリモト	乗本和男さん
二 俣	西部獵友会	石山さん 杉本さん
		栗田さん 大須賀さん
		鈴木さん

私達の取組に御協力いただいたすべての方にお礼申し上げます

THE END

*SOMETHING SPECIAL
IN TENRYU*

天竜ならではの観光

2019年2月5日

片山	イザベラ	佐古	友里恵
鈴木	翔	渥美	朋可
山内	麻里愛	藤野	降也

はじめに

- ①観光とは
- ②天竜のみどころ
- ③観光案内の実践
- ④今後に向けた提案

観光とは

- ・風景・風俗・習慣を見て回る。
- ・楽しみを目的とする旅行をする。
- ・観光の形態が多様化している。
- ・言葉の壁を越え、文化や自然を楽しむ。
- ・お金が回る、「観光立国」。

計画（天竜の見どころ）

Something Special in Tenryu
天竜にしかない特別なもの

- ・天竜浜名湖線 転車台・
有形文化財に登録の転車台
- ・本田宗一郎ものづくり伝承館・
自動車製造のHONDAの生みの親である
本田さんが作ったバイク展示

- ・天竜川・
夏にはBBQや川遊び
- ・二俣病院・
歴史を感じる建物

計画（天竜ならではの）

- ・木の名札・
天竜杉をアピール

名札と →
パンフレット



計画（体験）

- ・茶道・
日本文化の体験
- ・和菓子作り・
自分で作った和菓子で茶道もより特別な体験に

天竜観光案内



天竜観光案内

イチゴ大福作り、茶道体験（天竜高校）



転車台見学ツアー（天竜二俣駅）



歩きながら天竜の街並み見学



本田宗一郎のものづくり伝承館見学

参加者アンケートより

- ・楽しんでくれた 「最高の一日！」
- ・イチゴ大福、茶道、街歩き・・・◎
- ・天竜を知るチャンス
- ・この場所ならではの歴史を知れた
- ・自然の美しさ、美しい景色。

天竜観光案内



感想・反省

- ・計画的に進めるべき
- ・思った以上に交流できた
- ・木の名札・・・◎
- ・よりよい季節、時間
- ・地元の人との交流

今後にむけた提案

「天竜ならではの」を経験



レンタルサイクルで
天竜を散策！



転車台～本田宗一郎ものづくり伝承館
散策ツアー

転車台で電車見学



二俣川沿いを歩き
クローバー通りへ



山ノ舎でお昼ご飯（日替わりメニュー）



本田宗一郎ものづくり伝承館で見学



ほぼ同じ



提案

1. 秋葉ダム、佐久間ダム、水窪ダム、
船明ダムのダムツアー。

- ・自転車で各ダムをまわる
- ・ダムマニアにはオススメ！！
- ・天竜の素晴らしい景色を堪能



提案

2. 2泊3日のキャンプ!!

天竜の自然に触れてみよう。

- ・天竜のキャンプ場施設が開催
- ・家族連れや、友達と参加するのもよい!
- ・天竜のきれいな夜景と景色を見れる

提案

Something Special in Tenryu



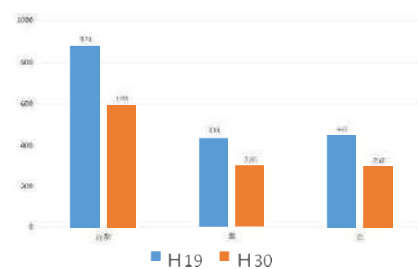
『子どもの街・天竜を目指して』



静岡県立天竜高等学校2年天ゼミ チーム保育

青柳・加藤・小出・佐藤・高柳・望月

天竜区に住む0～4歳児の人口の変化



少子化の原因は？

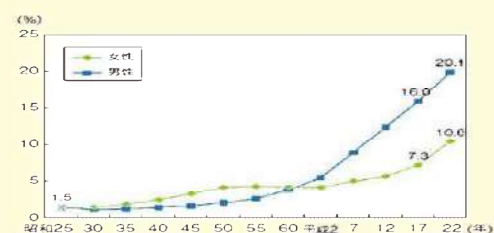


1 未婚率の上昇

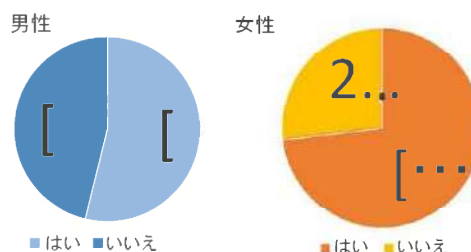
2 子育ての負担



1 未婚率の上昇



未婚者の中で「相手がない」と答えた人



相手がない・出会いが少ない⇒未婚率の上昇



婚活の場が必要！

婚活の場を区で開く

阿多古川を利用して、婚活パーティーを開く！

- ①主催は浜松市天竜区
 - ②場所：天竜区上野
 - ③参加費 男性 3000円、女性 2000円
 - ④参加人数20人
 - ⑤地元食材を使ったバーベキュー、川遊び、花火
- ※気の合った2人を担当者がコーディネート！



2 子育ての負担～その1～

妊娠・出産にかかる経済的負担

出産にかかる費用<2015年調査>	
妊娠中の健診料	約9万円
健診の交通費	約2万円
入院・正常分娩の場合<相部屋>	約42万円
育児用品<衣装・寝具・その他の予備も含め>	約37万円
合計	約91万円

伊豆市

【対象者】

1. 妊娠22週を迎えた人
2. 子どもが生まれるまで伊豆市内に住む予定のある人

【祝い金】

胎児1人あたり**4万円**

伊東市

【対象者】

伊東市に出産前から1年以上住み、子どもが生まれた人

【祝い金】

第1子	第2子	第3子
5万円	4万円	3万円

御前崎市

【対象者】

第2子以降の子を出産した人で、出産の日まで1年以上御前崎市に住んでいて、今後も1年以上、御前崎市に住む人

【祝い金】

第2子	第3子以降
10万円	30万円

菊川市

【対象者】

- ① 第2子以上が生まれた世帯
- ② 生まれた日から6か月以上前から菊川市に住んでいる人
- ③ 生まれた後も子どもと5年以上菊川市に住む予定のある人

【祝い金】

第2子	第3子	第4子	第5子以降
10万円	15万円	20万円	30万円

※ 《1人につき》

浜松市天竜区が
独自の**出産祝い金**を出すには？

天竜区独自の財源

- 1 お祭り・イベントを新しく開催する
- 2 天竜杉を活用した物を大都市で売る

子育ての負担 ～その2～

子育てへの不安



『**ハッピーライフ天竜**』の誕生

旧二俣高校



ハッピーライフ天竜

＊旧二俣高校をリノベーション＊

1階から2階を設備の整ったこども園

広い運動場 お遊戯室 食堂 お昼寝室の完備 子育て相談室

3階～4階をマンションにして幅広い年代の入居

住居とこども園が近いから安心して生活できる

テピア



不動産会社と連携して、テピアの跡地を子育て支援の

大きなショッピングモールに



